



ひびき

◆ゆたかなかわりを求めて
夢や希望をもち
未来をひらく子ども

令和5年度最後の全校朝会講話より

校長 渡邊 芳久

・・・今日は、「未来」の話をしします。未来と言っても遠い先ではなく、2030年代。皆さんが20歳くらいになるころの未来の話です。これから見てもらう画像は、今から6年前に国の総務省情報通信審議会にIoT新時代の未来づくり検討委員会が出した資料です。つまり国がつくったものです。



では、簡単にその資料を見ていきましょう。

まず、朝です。起きるとお節介ロボットがいます。「歯磨きをしましょう」とか「朝食を食べたら薬を飲みましょう」「寒くなりそうだからもう1枚羽織ったらどうですか」などとロボットがお手伝いをしてくれています。

次は病院です。「どこでもドクター」何だか聞いたことがありそうな名前ですね。わざわざ病院に行かなくても、家でもお出かけをしてもAIが健康管理をしてくれるという優れものです。

続いてお仕事。一人で、複数、いくつかの仕事をもち、家でもカフェでもスイッチ一つで切り替わるバーチャル個室で働くというものです。

そして学校。壁や天井、机が全てディスプレイになり、教科書や筆箱が消え、VR・バーチャルリアリティで遠足や体験学習を行う未来が描かれています。

他にも・・・さあどうでしたか？本当に10年、20年後、こんな未来になるのでしょうか？それは、みなさん次第だと思います。未来はみんなで創り上げていくもの。みなさん一人一人が未来社会の主人公であり、創り手です。

これからもいろいろなことに挑戦し、仲間と助け合い、協力しながら「かがやき かがやきあい かがやかせあう」未来を創って行ってほしいと願っています。